

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
Serve to Change Lives

2021-22年度 RI会長/シェカール・メータ
RI.D2590ガバナー/小倉 正
横浜旭RC会長/北澤 正浩

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email: asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)
例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈

横浜市へ医療機器支援

旭ふれあい区民まつり

2022年5月18日 第2462回例会 VOL. 53 No. 24

- 司 会 副SAA 岡田 隆
- 開会点鐘 会 長 北澤 正浩
- 出席報告

会員数	21名	本日の出席数	14名
本日の出席率	70.00%	修正出席率	80.00%

■オンライン出席者

二宮麻理子、東谷、市川、佐藤（真）

■本日の欠席者

田川、中谷、福村、二宮登、宋

■他クラブ出席者

北澤、新川、五十嵐、市川（第5G交流会）

■会長報告 北澤 正浩

皆様、こんにちは。

先週に太田会員より退会届が提出されました。退会理由としては、病気を発症し入院され、再発の恐れがある為とのことでした。

13日に幹事の市川さんと共にご自宅へお見舞いに伺い、ご本人にお会いし、お話しさせていただきました。とても元気そうにお見受けしましたが、病状としては再発が予想され対処の為に手術が必要とのことでした。できることなら退会せずにWEBでの参加で在籍していただくよう申し入れましたが、6月までの在籍は約束していただいたものの退会の意思は固いようです。

健康上の理由ですので、無理に引き留めるべきではないと重々承知の上で言わせていただく

と、当クラブを長年支えていただいた方です、極力負担を抑えるかたちで太田会員には残っていただきたい。その為のひとつの方法として、現在検討中の特別会員になっていただき、例会に出席せずともクラブに在籍していただければと願っております。

ロータリーが活動するためには、人と人との協力が必要です。できるだけ多くの方が集まれば活動はより大きく、より多くの方々へ奉仕することができます。当クラブは今期、多くの貴重な方々が退会なされました。その為に今後の活動規模が狭まることを心配しています。これからも当クラブが健全に活動し続けるには、会員をこれ以上失うべきではありません。無理に正会員であるべきだとは申しません。たとえ活動や例会に参加できなくとも、ロータリアンとしてベテランの方々へ活動への応援やアドバイスをいただくだけでもクラブにとって大きな力となります。退会されることで当クラブとの縁を終えるのではなく、この先もずっとロータリアンとして繋がり続けていくことを選んでいただければ、皆様にもお願いしたいと思います。できましたら皆様より太田会員へ無理のない範囲での働きかけをお願いいたします。

先週の13日金曜日に2021-2022年度、第5グループ第1回交流会が開催され、幹事の市川さん、五十嵐さん、新川さんと共に出席させていただきました。

第5グループから約80名の会員が出席し、久々の（名目は交流会ですが）合同例会となりました。

■幹事報告

例会場変更のお知らせ

○横浜保土ヶ谷ロータリークラブ

モンテファレ（天王町駅より1分）

7月5日(火)例会より

■ニコニコBOX

北澤 正浩／岡田会員の卓話を楽しみにしております。

安藤 公一／岡田さんの卓話宜しくお願ひします。

内田 敏／岡田さんの本日の卓話宜しくお願ひします。楽しみにしています。

新川 尚／岡田さん、本日のフォーラム宜しくお願ひします。

佐藤 利明・佐藤 真吾／岡田様卓話よろしく。五十嵐 正／岡田さんの卓話楽しみにしております。よろしくお願ひします。

岡田 隆／本日のフォーラムを担当させていただきます。つたない話しかできませんがよろしくお願ひします。

平子 智章／岡田さん、本日の卓話宜しくお願ひします。

■卓話／青少年奉仕フォーラム 岡田 隆

本日は、青少年奉仕フォーラムということでお役目をいただきました。

私自身、入会以来3年経過いたしました。が、コロナ禍という大きな要因もあり、ロータリーアンとしての活動をほとんどしていませんので、正直なところ何をお話してよいか見当もつかず、本日はそもそも青少年とは。という事と、たぶん当クラブでは弊社が一番多くの未成年者を含む青少年世代を雇用していると思いますので、企業側として普段感じていることなどを含めてお話させていただきたいと思ひます。

今回のお話させていただく内容は神奈川県から発表されている「かながわの青少年2021」の全体版 全114ページをざっと目を通した



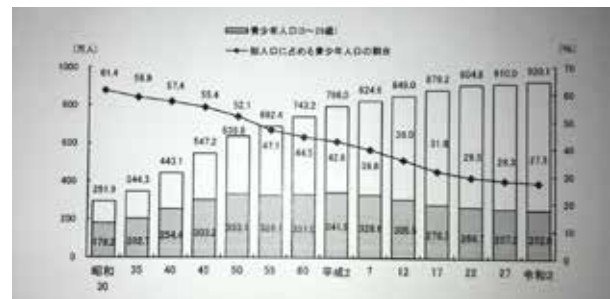
中でいくつかトピックスを挙げて発表させていただきます。会場でお配りしているのはその概略版で、

神奈川県のホームページから、2012年版まで遡って見る事ができるようです。

本日はスクリーン上では、リモート参加の方のための簡単なテキストしか準備できませんでしたので、ご容赦ください。

まず、青少年の年齢定義はご承知の通り0歳～29歳となっています。

神奈川県の人口推移と青少年人口推移をご覧ください。



ご承知のように神奈川県は全国でも数少ない人口増加している都道府県ですがご覧の通り、青少年人口は昭和60年後半～令和2年にピークとなり、以降減少を続けております。いわゆる団塊ジュニアの世代が、この波を作り出している事が良くわかります。

注目すべきは人口比率で私が産まれた頃昭和30年後半には50%以上。

私のところの長男が生まれた平成2年でも40%以上ありましたが、令和2年現在で人口920万人に対して252万人。

人口比率で27.5%と減少加速が進んでいます。私たちの頃から少子高齢化は問題とされておりましたが、あらためて数字で確認すると現状の少子高齢化問題はかなり深刻な問題であると痛感いたします。

さて、神奈川県の青少年人口の平均は先ほど申し上げた27.5%ですが、市町村別でみると、横浜市平均は県と同じ27.5%です。

さらに横浜市を区単位で見ると1位は都筑区で32% 最下位は中区の23.8% 旭区は25.5%と市内18区の中でワースト4位です。ちなみにワースト2位3位は栄区と港南区です。ご興味ある方は、全体版を閲覧していただければ

ば、各市町村別でご覧になれますのでご興味ある方はご参照ください。

横須賀三浦地域、県西地域などはかなり高齢化が進んでいることが一目瞭然です。

他、全体版では統計数値のほかにご覧のような内容が記載がされています。

例えば身長体重の平均値の推移とか、50M走の平均値などの体力測定からの集計や、朝食の摂取率、睡眠時間、テレビ視聴時間などの調査結果が記載されています。

他、概略版にもあるように校内暴力件数全国1位。2位の大阪の1.5倍の1万件超え。人口比率でも全国3位という好ましくない結果が掲載されています。

他、青少年ではありませんが生涯未婚率という統計が載っておりました。

※生涯未婚率とは45歳～54歳までの未婚率の平均から、50歳時の未婚率を計算したものだそうです。

男女差があり、この35年間で男性は8倍に女性は3倍に増えているそうです。

男性で、24.9% 4人に1人ですね。

女性は 13.7% だそうです。

この統計は2015年が最新だそうですので、もう少し増えているかもしれません。

結果として単独世帯の増加が大きな要因となり、世帯人員が減少していて平成7年の世帯平均2.65人→平成27年で2.26人となっています。

これらは、私たちの商売にも大きく影響が出ていて、たとえばミスタードーナツのお持ち帰りのお買い上げ個数だったり、宅配ピザのサイズだったり。スーパー・コンビニなどでも食材は小分けの物が目に付くようになっていきます。

冒頭にお話させていただいたように、弊社では学生アルバイトさんを含め、若い世代のアルバイトさん、パートさんに支えられた事業を運営しておりますので、更に就労に関しての内容でお話いたします。

令和3年度の高校新卒者の進路ですが、大学進学率が60%で4万人ほど 就職者は8.5%で、5千名を超える方が社会人として活躍しているそうです。

大学生は県での数値でなく、全国統計が記載

されていました。

就職、または大学院などへの進学も何もしない方が約7% 4万人ほどいるようです。

神奈川県で大学進学された方とほぼ同数の方が全国で、特に定職をもたない方がいる事になります。ほかに非正規雇用の方が1万人弱おられます。すべてがコロナの影響と思いませんが、ここ数年に影響は確実に後年に出てくると思います。

神奈川県の就労状況を数値でまとめてみました。

2020年平均	総数	労働力人口	就業者	正規雇用者	非労働力人口
15歳以上	8120	5190	5042	2790	2925
15～24歳	932	485	470	211	447
	11.5%	9.3%	96.9%	44.9%	48.0%
25～34歳	1030	928	893	668	102
	12.7%	17.9%	96.2%	74.8%	9.9%

資料は神奈川県が実施している労働力調査2020年の年平均からの抜粋です。

厚労省をはじめ、就労に関する統計は15歳以上を10歳単位で括っているようで、青少年の年齢定義とはズレてしまいますが、15歳～24歳、25歳～34歳に焦点をあててみましょう。

15歳以上の人口は8,120千人 うち労働力人口は5,190千人 うち就業者 5,042千人 全体の完全失業率は2.9%表では2段に分けていますが、15歳～34歳までを括ると人口は1,962千人人口比率で24.1% 労働力人口は1,413千人で、全年齢比で27.2% うち就業者は1,363千人 失業率は3.5% 特に25～34歳の失業率が3.9%と全年齢の中でとび抜けて大きい数値となっています。また非正規雇用の割合も32.2%とアルバイト・パートの多い年齢層の実態通りだと思います。

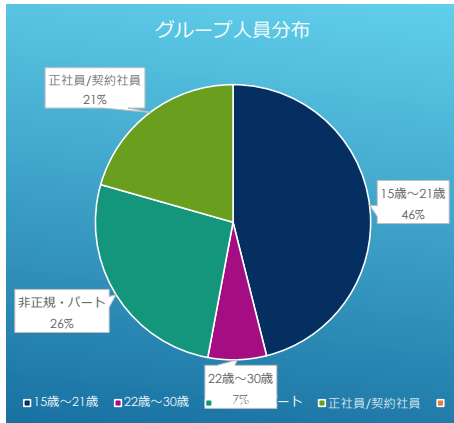
非正規雇用のうちパート・アルバイトは全年齢で1,116千人に対して338千人と約3割を占めています弊社はこの33万人通勤の事を考えると実際には20万人くらいの方が対象になると思いますが、事業を運営するにあたり非常に戦力となる年齢層になります。

コロナの影響もあり、現在若干アルバイトさんの人数が減っております。

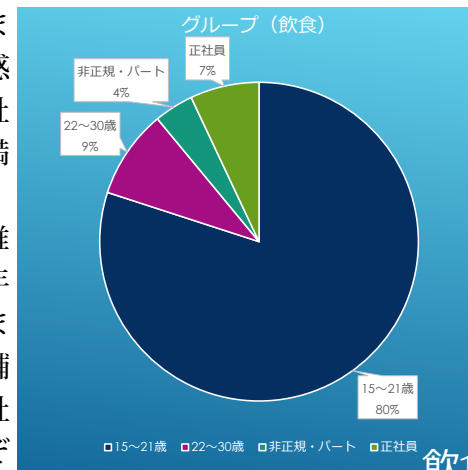
時間短縮などで、高校生・大学生がシフトに入れる時間が短くなってしまったりで総勢で千

名を欠けているようです。

実際に、年齢別・パート比率を見てみると今年度4月で全体のパートさんアルバイトさんの比率は79%で年齢別でみると、30歳未満の方が全体の55%。その内訳で21歳以下が85%。全体の47%が学生アルバイトさんとなっています。



飲食部門だけで見るとこんな感じで90%以上になります。こんな感じですよ。(社員1割に満たないです)



弊社の推移も10年遡って見ましたが、店舗の増減、社員がそれぞれ10歳年を取った事を差引くと、大きな変動はありませんでした。

弊社だけの問題では無いと思いますが、年々上がっていく最低賃金の影響で人員数をより多く確保しなければならない一方で対象年齢層の絶対数が減っていくので、状況的には厳しくなる一方です。

特に新規出店の場合、かなり際どい状況でオープンせざるを得ない事態が続いています。

神奈川県最低賃金の推移と学生さん、主婦さんの収入の大きな障害。いわゆる103万の壁で働ける時間数の推移です。これ、最低賃金なので、アルバイトリーダーさんとか時給アップすると週15時間くらいしかシフトに入れないう事になります。結果として総人数でカバーしなければならないか、社員が残業をしてさらに人件費を圧迫するという経営者側にとっては有り難くないスパイラルに陥っているのが現状です。

最低時給の推移と103万円の壁

2021年	1040円	19時間/W
2011年	836円	23時間/W
2001年	706円	28時間/W
1991年	572円	34時間/W
1981年	397円	50時間/W

今後、我々中小企業も社会保険の加入のラインの引下げにより106万の壁も意識していかなければなりません。

ちなみに私が18歳の時にうちのミスタードーナツ1号店がオープンしましたが、まさにこの397円、深夜でたしか496円でアルバイトをしていました。死ぬほど働いても親の扶養を超える事はありませんでした。

青少年の話からだいぶ離れてしまっていますので、少し戻ります。

今年4月から成人年齢が18歳に引き下げられました。雇用側での変更点は未成年者の就労に関して保護者の同意が必要な年齢が20歳から18歳になった以外、何も変わる事はありませんでした。当人たちもあまり認識は無いように思います。

最後になりますが、この全体版の後半部分は全て神奈川県青少年施策の実施状況が報告されています。

多くの支援・指導・育成プログラムが掲載されていますが、コロナの影響で19年度から未実施のモノが多く見られました。

ロータリークラブの活動もそうですが、この空白の期間が、ただ失われた時間でなく、新しい価値への構築になる変化となる事を願うばかりです。

今日、このようにリモート開催も北澤会長の多大なるご尽力によって当たり前のように成り立っておりますが、数年前には考えられなかったことです。

私の発表の締めくくりとして北澤会長に改めて感謝申し上げます。

以上で、本日のフォーラムを終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

■次回卓話 新川会員